

基本情報



【年 齢】
36歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
香川県高松市
【前 職】
コールセンター勤務
【活動時期】
R3.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

海外で経験を積み、大学院進学のため帰国。2020年4月に入学した際、コロナ禍に遭遇する。コロナ禍での大学院生活を送り、地域活性化に興味がわく。実践的にも地域のために役立てる方法を模索していたところ、友人から地域おこし協力隊を勧めてもらい応募した。

今後の抱負・任期後の目標

キャンプ場の利用客や芸術祭の観客の滞在時の満足度をあげ、「また来たい」と思っていただき、何度も地域に足を運んでもらえる人を増やしたい。そのために、環境づくりや、接する人のモチベーションを上げるもしくは維持続けるように、協力していきたい。

また、地域住民が主体的に、地域をより良くしたいと思え、住民や地域の企業の得意な面を引き出せるようにして、その人たちが得意分野で活躍してもらえるように、活動を通して調整や仕組みづくりに貢献したい。

活動内容

●早起きは三文の徳プロジェクト

2年目に入り、偶然、小学生の朝の通学バスの待ち時間の様子を見学した。そして、通学バスの待ち時間を有効活用できないかと考え、当該プロジェクトを発案。1学期は「ことわざ教室」、2学期はさらに「水仙百本計画」も始動し、児童、保護者と小さな成功体験を通して、主体的に地域をよりよくする楽しさを実感してもらうことを目標とし、取組み中。



●「道の駅に寄って、キャンプ場へ」動線づくり活動

担当地区にはBBQもできる町営のキャンプ場がある。キャンパーの持ち込み食材を観察すると、町外のスーパーで買い物したもののが大半であった。綾川町の野菜は美味しい、BBQでも勝負できるのに、その美味しさをキャンパーに対してPRできていないのでは?と考えた。往路時に町内にある道の駅に寄って、BBQ食材を購入してもらう、動線づくり活動に取組み中。



●「第5回 かがわ・山なみ芸術祭」実行委員活動

担当地区発祥の「かがわ・山なみ芸術祭」の実行委員としても活動中。2年(3年)に1度開催で、2022年は開催年である。第5回目の今回は町内の展示エリアを拡大する目標で、地域住民を巻き込んで、準備を進めている。協力隊員自身にとって、初めての経験で、同じ実行委員や地域住民に教えを請いながら活動。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) iimachi@town.ayagawa.lg.jp
(電話番号) 087-876-5577【綾川町役場総務課いいまち推進室】

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

FACEBOOKページ「綾川町地域おこし協力隊」